

令和4年第2回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第9】 山中 雅人 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 公の施設の指定管理者制度について	① 指定管理者の選定において、情報公開、選定委員の人選等の現状の運用体制について伺う。	市長
2 重要実績評価指標について	① まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIにおいて、48項目の中で高が9、低が34、中止が5となっている。新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるが、全体として目標達成が低調である原因について伺う。	市長
3 小学校の児童数の見通しについて	<p>① 本市の令和3年度の出生者数が126人と前年度の172人と比較してマイナス26.7%と非常に少なくなっている。その原因と今後の対応策について伺う。</p> <p>② 本市には現在19の小学校があるが、令和3年度の出生者数が今後も続く場合、学校の存続に多大な影響がある事が予想される。大隅南小学校の閉校などもあったが、今後の初等教育の施設維持に関する方針について伺う。</p>	市長 教育長
4 本市の動物愛護政策について	① 近年、本市では飼い主の死亡などによって野良猫が近隣トラブルを起こすケースも増えている。市では今年から兵庫県の公益財団法人と協力して、地域猫などの飼い主のいない猫の去勢・避妊を進めているが、現状の進捗や課題について伺う。	市長

令和4年第2回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第10】 岩水 豊 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 小学校の統合について	① 小規模校の今後の児童数の推移について伺う。 ② 統廃合に対する市長の所見を伺う。 ③ 行政主導の統廃合は考えていないか伺う。 ④ 小規模校のメリットとデメリットについて伺う。	教育長 市長
2 南九州畜産獣医学拠点事業について	① 工事の進捗状況について伺う。 ② 開校にむけてのスケジュールについて伺う。	市長

令和4年第2回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第11】 瀬戸口 恵理 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1 子どもの事故予防について</p>	<p>子どもは大人に比べて体格が小さく、経験も浅く、思いもよらぬ事故に遭ってしまう場合がある。少子化が進む中、移住促進や出生率の向上、子育て支援も大切だが、最も大切な子どもの命を守り育むため、市の考えを伺う。</p> <p>① 子どもに起こる事故予防について、本市が取り組んでいる安全対策と、連携体制について伺う。</p> <p>② 子どもの事故が未遂も含めて過去にどれくらいあったか、またそれについてどのように対応したかについて伺う。</p> <p>③ これからの時期は、暑さによる事故、水辺の事故、用水路の水嵩が増すことによる事故などが増加することが危惧される。夏場の安全対策について、どの部署がどのように取り組んでいるかについて伺う。</p> <p>④ 通学路の安全管理について、本市の対策を伺う。</p> <p>⑤ 本市は海に面してはいないが、公園の水遊び場や河川などへ涼を求めて市内外から訪れる子ども連れも多いため、子どもの体験を制限することなく、水辺の安全を守るに当たり、本市としてどのような対策が取られているかを伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>

<p>2 みどりの食料システム戦略について</p>	<p>農林水産省が持続可能な食料システムの構築に向けて策定した「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに、耕地面積に占める有機農業の取組み面積の割合を25%100万ha（2.3万ha→100万ha）に拡大し、化学農薬の50%低減，化学肥料の30%低減を目指すとしている。鹿児島県は有機農業の推進県であるとおっしゃる有識者もおられ，本市でも市長が昨年7月の市長選で選挙公報に「有機農業のまち曾於市の発展」を掲げておられる。</p> <p>① 農林水産省は2025年までにモデル自治体100市町村，2030年までに全国の1割以上の市町村（約200）ものオーガニックビレッジの創出を目標としており，本市もできるだけ早くオーガニックビレッジ宣言をするべきだと考えるが，その予定について伺う。</p> <p>② 学校給食での有機農産物の利用促進を念頭に教育との連携が求められているが，本市でのオーガニック給食の予定について伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>3 部活動の地域移行について</p>	<p>スポーツ庁の有識者会議で，休日の指導を地域や民間団体に委ねる「地域移行」を2025年度末を目標に実現すべきとの提言をまとめ，今後，自治体は具体策やスケジュールを定めた計画策定を求められ，2023年度から段階的に行われることとなる。</p> <p>① 本市の進捗状況と今後の予定について伺う。</p> <p>② 現在，国からの予算は明示されておらず，自治体任せになる懸念があるが，地域移行に要する予算額と財源の見込みを伺う。</p> <p>③ 保護者の時間的かつ経済的な負担が増加しないように，どのような方針を取るつもりか伺う。</p> <p>④ 本市において，今ある部活動はどのようなものがあり，それぞれの存続は今後可能かどうかについて伺う。</p>	<p>教育長</p>

<p>4 手話言語条例について</p>	<p>⑤ 地域間格差が起こらないように、どのような取組みを行うかについて伺う。</p> <p>⑥ 部活動に参加したい子どもに対し、これまで続けられる権利をどのように守り、環境整備を行う予定なのかについて伺う。</p> <p>手話言語条例を鹿児島県で初めて制定した本市は、令和2年4月1日に施行してから2年経過した。現在の進捗について伺う。</p> <p>① 施行後、どのような取組みを行ってきたかについて伺う。</p> <p>② 本庁再編において、集約した窓口対応を行う予定になっているが、手話対応ができる職員がどれくらい確保できる見込みか伺う。</p> <p>③ 「手話を使用しやすい環境の構築」のために、学校での手話学習は大変重要であると考えているが、本市の現在の取組みと、今後の方針について伺う。</p> <p>④ 条例にあるように「手話が言語であることを認識し、手話への理解の促進及び手話の普及を図り、手話でコミュニケーションを図りやすい環境を構築する」ために、市内外への周知は重要だと考えるが、どのような広報を行っているかについて伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
---------------------	---	-------------------